

水高図書館だより



令和2年7月6日(月) 7月号【No. 4】

山形県立加茂水産高等学校 図書館

※紹介文はインターネット等を一部引用しています




図書館を利用する際、入室、退室時は
消毒液で手の消毒をしてください。
3密を避け利用をお願いします。



「部活本」
展示中

読書感想文を書いてみよう!



 <p>『廉太郎ノオト』 谷津矢車/著 中央公論新社</p> <p>ライバル、友人、恩師に導かれ、瀧廉太郎は日本に新しい音楽を響かせる。明治時代を駆け抜けた天才音楽家の甘く苦い青春小説</p>	 <p>『フラミンゴボーイ』 マイケル・モーパーゴ/ 作 杉田七重/訳 小学館</p> <p>南仏を訪れた青年が遭遇した体験。それは、第2次世界大戦末期、フラミンゴと話ができる力を持つ少年とロマの少女の感動物語</p>	 <p>『キャパとゲルダ：ふたりの戦場カメラマン』 マーク・アロンソン、マリナ・ブドーズ/著 原田勝/訳 あすなろ書房</p> <p>生きるために…二人のカメラマンは戦場へ向かった。夢と理想を支えに、革命の前線に身を投じた若き二人の青春ドキュメンタリー</p>
--	--	---

第66回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が届きました。現在、図書館で展示中です。

「どんな風にかきたいかわからない」という人のために、読書感想文Q&Aを図書館前に掲示しています。参考にしてみてください。

本を読むのは好きだけど、感想文はめんどくさい。そう思う人でも読んだ本のタイトルと著者、3行程度の感想や感じたことを手帳やスマホに記録してみてもはどうでしょう。同じ本でも読んだ時期によって、以前とは違った感じ方をしていることに気づかされます。本棚に並べる感覚で使える読書記録用アプリもあるので、自分にあった読書記録をつけてみるのも楽しいですよ。



図書館開館予定表

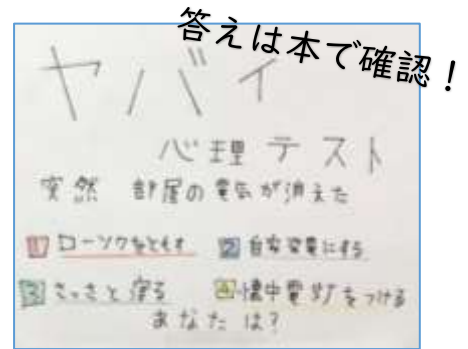
<開館時間は急遽変更あり>

日	月	火	水	木	金	土
7/5 閉館	6 9:45~17:00	7 9:45~17:00	8 9:45~17:00	9 10:45~14:00	10 9:45~17:00	11 閉館
12 閉館	13 9:45~17:00	14 9:45~17:00	15 9:45~17:00	16 10:30~15:30	17 9:45~17:00	18 閉館
19 閉館	20 9:45~17:00	21 9:45~17:00	22 9:45~17:00	23 9:45~17:00	24 9:45~17:00	25 閉館
26 閉館	27 9:45~17:00	28 9:45~17:00	29 9:45~17:00	30 10:30~17:00	31	8/1 閉館

夏季休業中の開館日は後日、図書館入口に掲示します。

図書委員おすすめ本

図書館前掲示板・館内にも展示してあります。
夏の読書の参考にして下さい。



新刊案内



『海はだれのものか』
(海とヒトの関係学3)
秋道智彌 西日本出版
今、世界の海で何が起きているのか



『カケラ』
湊かなえ 集英社
あの子、大量のドーナツに囲まれて死んでいたらしいよ。



『意味が分かって震える話』
藤白圭 河出書房新社
人間の本能の間をついた、新しいホラー小説。

『明るい夜に出かけて』
佐藤多佳子 新潮社
深夜ラジオ、コンビニバイト、一人暮らし…
「ひとり」でいたいのに、誰かと繋がりたい



『5分後に意外な結末ベスト・セレクション』
桃戸ハル 講談社
文庫版になった5分後シリーズ。通学のお供にいかがですか？



『お札に描かれる偉人たち』
淡沢栄一・津田梅子・北里柴三郎 楠木誠一郎 講談社
2024年、お札の「顔」が変わります。彼らが、いつの時代、何をした人か知っていますか？



『第九の波濤II』
草場道輝 講談社
キャンパスを飛び出して、学問の海へ！
洋上風力発電編、完結!!



新刊案内で紹介する本の中で、左のマークがついている本は希望図書として購入したものです。



どくしょノート

司書のおすすめ本を紹介します。

『ライオンのおやつ』小川 系 ポプラ社

【 あらすじ 】人生最後に食べたいおやつはなんですかー。 余命を告げられた雫は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことに決めた。そこでは毎週日曜日、入居者がもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつ時間」があったー。毎日をもっと大切にしたいくなる物語。

キリンの次はライオン…とタイトル動物繋がりではなく、今年の本屋大賞で2位を受賞した小川系さんの小説です。タイトルから“おやつの本”を連想しそうですが甘くない。主人公・海野雫が担当医と残された時間について話しているシーンからはじまります。物語が動き出すとライオンの家がある瀬戸内の島の自然の美しさ、そこに入居するとマドンナの明るさ、おやつに関するエピソードが、生き生きと描かれていて驚きました。本当に主人公は死ぬの？ と疑ったりするほど。さりげない日常のありがたさ、生きることの尊さが伝わってきます。

おやつの本が読みたい方は坂木司さんの『おやつが好き』(文芸春秋)をおすすめします。おやつに関するエッセイと小説が味わえます。おやつの食べ過ぎにはご注意ください。

